



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 チムニー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3178 URL <https://www.chimney.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 和泉 學  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 阿部 真琴 (TEL) 03(5839)2600  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21,355	△4.7	543	△46.4	590	△40.5	170	△59.6
2019年3月期第2四半期	22,413	△2.5	1,012	△27.9	992	△31.1	421	△44.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 165百万円(△57.1%) 2019年3月期第2四半期 385百万円(△52.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	8.86	8.82
2019年3月期第2四半期	21.99	21.86

(参考) EBITDA 2020年3月期第2四半期 1,331百万円(△25.7%) 2019年3月期第2四半期 1,793百万円(△22.5%)

\*EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却額

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	25,952	17,352	66.8
2019年3月期	28,146	17,395	61.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 17,348百万円 2019年3月期 17,391百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	11.50	-	11.50	23.00
2020年3月期	-	11.50			
2020年3月期(予想)			-	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,200	△3.3	2,000	△18.6	2,100	△16.2	700	△42.0	36.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	19,340,800株	2019年3月期	19,340,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	148,790株	2019年3月期	172,790株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	19,190,830株	2019年3月期2Q	19,168,049株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速などが懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、お客様の節約志向、食材価格の上昇、人手不足の影響、異業種を含めた企業間競争の激化など、引き続き厳しい状況にあります。

このような環境のもと、当社グループはお客様に当社店舗を選んでご来店いただき、お客様から「ありがとう」をいただくために行動してまいりましたが、天候不順による影響、お客様の嗜好・行動パターンの変化への対応の遅れ、サービス力の低下により、当第2四半期連結累計期間は厳しい状況が続きました。

この状況に対応するため、飲食事業におきましては、従業員満足がお客様満足につながるの思いのもと従業員満足を重視するとともに、新規出店を抑え、既存店舗のサービスレベルの向上、人材教育に努めてまいりました。また、グローバル人材の確保のため、外国人の採用と教育訓練に注力してまいりました。外国籍パートナー（社員、アルバイト）の教育訓練については研修センター店において、外国籍社員が指導員となり、「目の前のお客様を大切に」「お客様に喜んで帰っていただく」ための人材育成に努めております。

アライアンスの展開としましては、引き続き、株式会社つば八とのシナジーを追求してまいりました。

コントラクト事業におきましては、固定客が継続的にご来店される事業形態の特性に対応し、店舗独自の日替わりメニューを充実させることはもちろん、「ステーキフェア」「ご宴会キャンペーン」の実施など、「また行きたくなる」店舗作りを心掛け、各種行事、記念イベント等のケータリング事業の拡大強化に努めました。

店舗数につきましては、当社におきまして直営店の新規出店が4店舗（9店舗の退店）、フランチャイズへの建売が3店舗（フランチャイズ店から直営店への切り替えが4店舗）あったことにより、当第2四半期連結会計期間末の飲食事業直営店の店舗数は342店舗（前期末346店舗、前年同四半期末344店舗）となりました。コントラクト店につきましては、当第2四半期連結会計期間末のコントラクト店の店舗数は93店舗（前期末93店舗、前年同四半期末92店舗）となりました。また、フランチャイズ店の新規出店が2店舗（12店舗の退店）、直営店からの転換が3店舗（直営店への切り替えが4店舗）あったことにより、当第2四半期連結会計期間末のフランチャイズ店の店舗数は263店舗（前期末274店舗、前年同四半期末279店舗）となりました。さらに連結子会社におきましては、当第2四半期連結会計期間末における株式会社紅フーズコーポレーションの店舗は21店舗、めっちゃ魚が好き株式会社は13店舗であり、当第2四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は732店舗、当社の店舗数は698店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、当社における直営店の既存店売上高が対前年比95.7%であったこと等により、21,355百万円（前年同期比4.7%減）となりました。利益面におきましては、食材価格の上昇による影響を極力抑えるため、メニューの絞り込みやアイテム数の削減、スポット商品の機動的な調達、メニュー粗利ミックスのコントロールを行ったこと等により、売上総利益は14,388百万円（前年同期比4.6%減）となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費は減少したものの、543百万円（前年同期比46.4%減）となり、経常利益は、主として支払補償費の減少により、590百万円（前年同期比40.5%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、170百万円（前年同期比59.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べて2,194百万円減少し、25,952百万円となりました。この主な要因は、前連結会計年度末が金融機関休業日であったこと等による現金及び預金の減少1,200百万円のほか、有形固定資産及び無形固定資産が607百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて2,151百万円減少し、8,600百万円となりました。この主な要因は、買掛金が1,527百万円、未払金が612百万円、有利子負債が350百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて43百万円減少し、17,352百万円となりました。この主な要因は、当第2四半期連結累計期間の業績により利益剰余金が170百万円増加した一方で、配当金の支払いが220百万円あったこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、営業活動により381百万円減少、投資活動により241百万円減少、財務活動により577百万円減少した結果、前連結会計年度末より1,200百万円減少し5,992百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果減少した資金は、381百万円（前年同四半期は1,466百万円の増加）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益473百万円、減価償却費492百万円、のれん償却額247百万円による増加があった一方で、仕入債務が1,527百万円減少、未払金が648百万円減少、法人税等の支払が339百万円あったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果減少した資金は、241百万円（前年同四半期は654百万円の減少）となりました。主な内訳は、固定資産の取得による支出が255百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果減少した資金は、577百万円（前年同四半期は728百万円の減少）となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出が229百万円、配当金の支払額が220百万円、リース債務の返済による支出が91百万円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、現時点では2019年9月13日に発表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,193,349	5,992,831
売掛金	805,825	471,688
F C債権	468,559	505,771
商品	323,690	359,045
貯蔵品	23,632	19,878
その他	980,210	864,636
貸倒引当金	△186,539	△253,396
流動資産合計	9,608,729	7,960,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,500,004	4,183,960
その他（純額）	710,241	619,215
有形固定資産合計	5,210,246	4,803,176
無形固定資産		
のれん	5,172,392	4,925,055
その他	27,800	74,646
無形固定資産合計	5,200,193	4,999,701
投資その他の資産		
差入保証金	5,877,276	5,784,142
その他	2,255,310	2,410,028
貸倒引当金	△4,907	△4,985
投資その他の資産合計	8,127,679	8,189,185
固定資産合計	18,538,118	17,992,063
資産合計	28,146,848	25,952,518

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,882,268	1,354,316
F C 債務	411,302	323,934
1年内返済予定の長期借入金	459,984	435,003
未払法人税等	469,966	602,799
賞与引当金	253,308	244,313
役員賞与引当金	6,304	1,410
資産除去債務	18,618	15,483
その他	2,823,789	2,545,727
流動負債合計	7,325,542	5,522,988
固定負債		
長期借入金	295,068	90,057
退職給付に係る負債	199,055	205,651
資産除去債務	938,703	929,373
その他	1,992,757	1,851,963
固定負債合計	3,425,583	3,077,045
負債合計	10,751,125	8,600,033
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,772,621	5,772,621
資本剰余金	2,369,672	2,330,960
利益剰余金	9,595,117	9,544,829
自己株式	△365,131	△314,419
株主資本合計	17,372,280	17,333,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,805	14,075
退職給付に係る調整累計額	566	283
その他の包括利益累計額合計	19,371	14,358
非支配株主持分	4,070	4,134
純資産合計	17,395,722	17,352,485
負債純資産合計	28,146,848	25,952,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	22,413,552	21,355,520
売上原価	7,324,622	6,966,919
売上総利益	15,088,929	14,388,600
販売費及び一般管理費	14,075,946	13,845,333
営業利益	1,012,982	543,266
営業外収益		
受取利息	2,385	1,743
受取配当金	6,132	6,242
受取手数料	31,592	32,446
その他	18,911	26,789
営業外収益合計	59,021	67,222
営業外費用		
支払利息	3,996	1,180
持分法による投資損失	—	13,594
支払補償費	74,187	2,588
その他	1,334	2,891
営業外費用合計	79,518	20,254
経常利益	992,485	590,234
特別利益		
固定資産売却益	2,300	—
受取補償金	26,500	68,480
その他	—	3,000
特別利益合計	28,800	71,480
特別損失		
固定資産売却損	2,262	—
固定資産除却損	24,890	20,290
減損損失	159,553	165,528
その他	2,858	2,351
特別損失合計	189,565	188,170
税金等調整前四半期純利益	831,721	473,543
法人税、住民税及び事業税	550,475	469,418
法人税等調整額	△140,420	△166,082
法人税等合計	410,055	303,335
四半期純利益	421,665	170,208
非支配株主に帰属する四半期純利益	76	64
親会社株主に帰属する四半期純利益	421,588	170,144



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	421,665	170,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,887	△4,730
退職給付に係る調整額	△523	△283
その他の包括利益合計	△36,410	△5,013
四半期包括利益	385,255	165,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	385,178	165,130
非支配株主に係る四半期包括利益	76	64

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	831,721	473,543
減価償却費	549,283	492,948
のれん償却額	247,567	247,336
減損損失	159,553	165,528
長期前払費用償却額	22,015	22,603
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,869	△8,995
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,564	△4,894
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,861	6,188
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,878	66,935
受取利息及び受取配当金	△8,517	△7,986
支払利息	3,996	1,180
持分法による投資損益(△は益)	—	13,594
固定資産売却損益(△は益)	△38	—
固定資産除却損	24,890	20,290
受取補償金	△26,500	△68,480
売上債権の増減額(△は増加)	103,676	334,136
たな卸資産の増減額(△は増加)	19,951	△31,601
F C債権の増減額(△は増加)	△7,227	△37,211
仕入債務の増減額(△は減少)	△67,898	△1,527,952
F C債務の増減額(△は減少)	△129,158	△87,368
未払金の増減額(△は減少)	△100,015	△648,925
その他	723,450	463,294
小計	2,342,056	△115,831
利息及び配当金の受取額	8,517	7,986
補償金の受取額	26,500	68,480
利息の支払額	△3,992	△1,175
法人税等の支払額	△905,884	△339,222
リース解約金の支払額	△914	△1,764
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,466,282	△381,528
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△618,316	△255,964
固定資産の売却による収入	12,195	—
固定資産の除却による支出	△8,678	△25,346
関係会社出資金の払込による支出	△50,649	—
差入保証金の差入による支出	△94,946	△75,318
差入保証金の回収による収入	128,751	142,638
その他	△22,797	△27,272
投資活動によるキャッシュ・フロー	△654,442	△241,262

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△229,992	△229,992
自己株式の処分による収入	—	12,000
自己株式の取得による支出	△126	—
配当金の支払額	△220,486	△220,515
割賦債務の返済による支出	△166,151	△48,155
リース債務の返済による支出	△111,944	△91,064
財務活動によるキャッシュ・フロー	△728,701	△577,728
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	83,138	△1,200,518
現金及び現金同等物の期首残高	7,880,234	7,193,349
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,963,373	5,992,831

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

持分法適用関連会社である株式会社つぼ八は、2019年9月18日付で、直営店運営事業に関する権利義務を、吸収分割によりその子会社であるつぼ八酒類販売株式会社に承継いたしました。

これに伴い、当第2四半期連結会計期間よりつぼ八酒類販売株式会社を持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

当社グループは、居酒屋を中心とした飲食事業の他にセグメントとして、コントラクト事業がありますが、飲食事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。